

# 地域共生ステーションづくりワークショップ

## 次のステーション部会(第3回) 結果報告

### 1 概要

(1) 日時 平成25年1月27日(日) 午前9時から正午まで

(2) 場所 まちづくりセンター

(3) 参加者

- ・ワークショップ参加登録者 14名
- ・報道機関 1名
- ・傍聴者 1名
- ・事務局 4名

(4) 配布資料 「地域を探ろう!」【南小学校区】

### 2 地域を探ろう!

南小学校区にある「まちづくりセンター」を拠点に「まち歩き」をし、地域の状況を探りながらステーションの取り組みとして必要なことは何かを考えました。そして、まち歩き後は「まちづくりセンター」で、ステーションの活用アイデアの1つである「カフェ」をイメージした場づくりを行い、お茶を楽しみながら「まち歩き」で気づいたことを振り返り、ステーションの活用イメージを考えました。

#### 長久手市の NPO 法人活動紹介

今回、長久手市で活躍する NPO 法人の「楽歩」と「NPO かわせみ」にお越しいただき、活動の紹介をしていただきました。また、「まち歩き」の振り返りを行いながら、両法人が活動の中で実際に作っている温かいコーヒーとおいしいパンをいただきました。

#### 楽歩



障がいを持つ方々に働く場を提供し地域での就労を目指して活動。活動の一環としてコーヒーの自家焙煎を行う。



#### NPO かわせみ



障がいの有無にかかわらず、一人ひとりが役割を持って幸せに生活できるよう支援を行う。活動の一環としてパン工房を運営する。



## 1. まち歩きのリターン

- きれいでモダンな印象だが、留まるよりも通り過ぎてしまう場所だと思った。
- 日本のどこにでもある住宅地だった。
- 表情の少ない街並み。どこに行っても同じ印象で公園も道も個性があまりないと感じた。
- 子どもを連れて南小学校区を通ることはよくあるが、通り抜ける場所の印象がある。



- 公園はいくつかあったが、時間が早かったせいか子どもが遊んでいなかった。
  - 子どもを連れて行こうと思う場所があまりない。広々とした公園がないせいか、ママ友同士で南小学校区で会おうという話にはあまりならない。
- せせらぎの道は人があまり歩いていない印象だった。花を置く等、ここをわざわざ通りたいと思わせる工夫をしたい。

- 楓老人憩いの家は水曜日と木曜日にシニアクラブの集まりがあり、市内の憩いの家の中でも活発な利用がある場所。隣には児童遊園があるので、子どもが自由に行き来できれば、子どもとお年寄りが交流することができる場となると思う。



- 今回まち歩きでNバスを利用したが、市内をつなぐNバスを活用して何か遊べるしくみができたらと思った。
- 便利だが、車があってこそ便利な地域。公共交通手段があまりないので、バスに1本乗り遅れるだけで大変。



- 古戦場公園、喜婦嶽の地蔵等歴史を感じられるものがいくつかあり、より多くの人に興味を持ってもらえるよう活かしていきたいと思った。

## 2. 南小学校区のステーションについて

### (進行役)

これまでの参加者の皆さんの意見をまとめてみると、マイナス要因は少ないが、まちとしての個性が少ないまちという意見が多かった。

南小学校区のステーションはどこに設けたらよいかどんなステーションにするべきか等話し合っていきたいと思う。



### (参加者)

- 南小学校区は、グリーンロードを挟んで色（地域の状況）が違う。グリーンロードから北側は、古い人と新しい人が混在している。長配と山野田のあたりは高齢者世帯と独居のお年寄りが増えている場所。お年寄りが孤立しないように支援していくことが必要で、お年寄りが集まれる場所が必要。ステーションで見守りをし、お年寄りの困りごとを早く察知できるようにしていきたい。



- 長配の集会所は、隣に長久手南児童館があるので子どももいて、近くに公園もある。集会所を活用できたらお金もかけずに幅広い世代が集うステーションができる。
- 地域に数か所集会所があるが、鍵を借りられないため、使うことができない。

- ステーションとして空き家、空き店舗を活用する。空き家を貸す人、借りる人がお互い安心感を持って賃貸や売買ができるしくみがあると良い。
- 月に何日間か自宅をステーションとして開放し、気軽に集まれる場所をつくる。まちの中に何軒かつくれたら良い。

- 幅広い世代が交流できる中で子どもを育てていきたいと思うが、今は核家族が多いため、交流できる機会が少ない。外で子どもが遊べる場所とステーションが併設されていたら理想。



- 空き家を借りて「駄菓子屋」をやれば子どもが集まる。そこにお年寄りがいてくれれば交流もできる。
- 一昔前はよその家に気軽に寄ることは普通だった。ふらっと入ることができる昔の風景を取り戻したい。
- 長久手市では初めての子どもを持つ保護者の方とお子さんが対象の育児教室（「かいじゅうランド」：保健センター主催）がある。そこで各小学校区のママ友と知り合うことができる。  
ママ友同士で集まる時にステーションを使えたらいい。どこのステーションも同じような場所にするのではなく、ステーションごとに個性をもたせると面白い。
- 既存の施設をステーションとして使うと今は時間の規制があるため、ステーションの使い方を考えて利用できる時間も変えていけるようにすると良い。



- 次のステーション部会では、まち歩きをしつつ、人探しも含めてステーションの情報発信のために情報誌を作る。  
ハードについて話し合っているだけでも、運営してくれる人や活動する人がいなければステーションを実際に始めることはできないので、ステーションに常駐してくれる人、子どもと遊んでくれる人等、キーマンとなる人を今から探しておく方が良い。また、フェイスブックを活用すると広がりやすい。



# 地域共生ステーションづくりワークショップ

## 次のステーション部会(第3回)

### 次 第

日時：平成25年1月27日(日)

午前9時から

場所：まちづくりセンター及びその周辺地域

1 地域を探ろう!【南小学校区】

2 その他

■次回の次のステーション部会(第4回)は

\_\_\_\_月 \_\_\_\_日( ) : \_\_\_\_から \_\_\_\_\_にて開催

## 【地域を探ろう！】

### 地域特性(ニーズ)探し

- 各地域には、どんな特徴があるのか？
- 何か困っていることはないか？

### 人(グループ)探し

- どんな人たちが地域にいるのか？
- どんな活動をしているのか？
- たくさんの人に参加してもらうには？

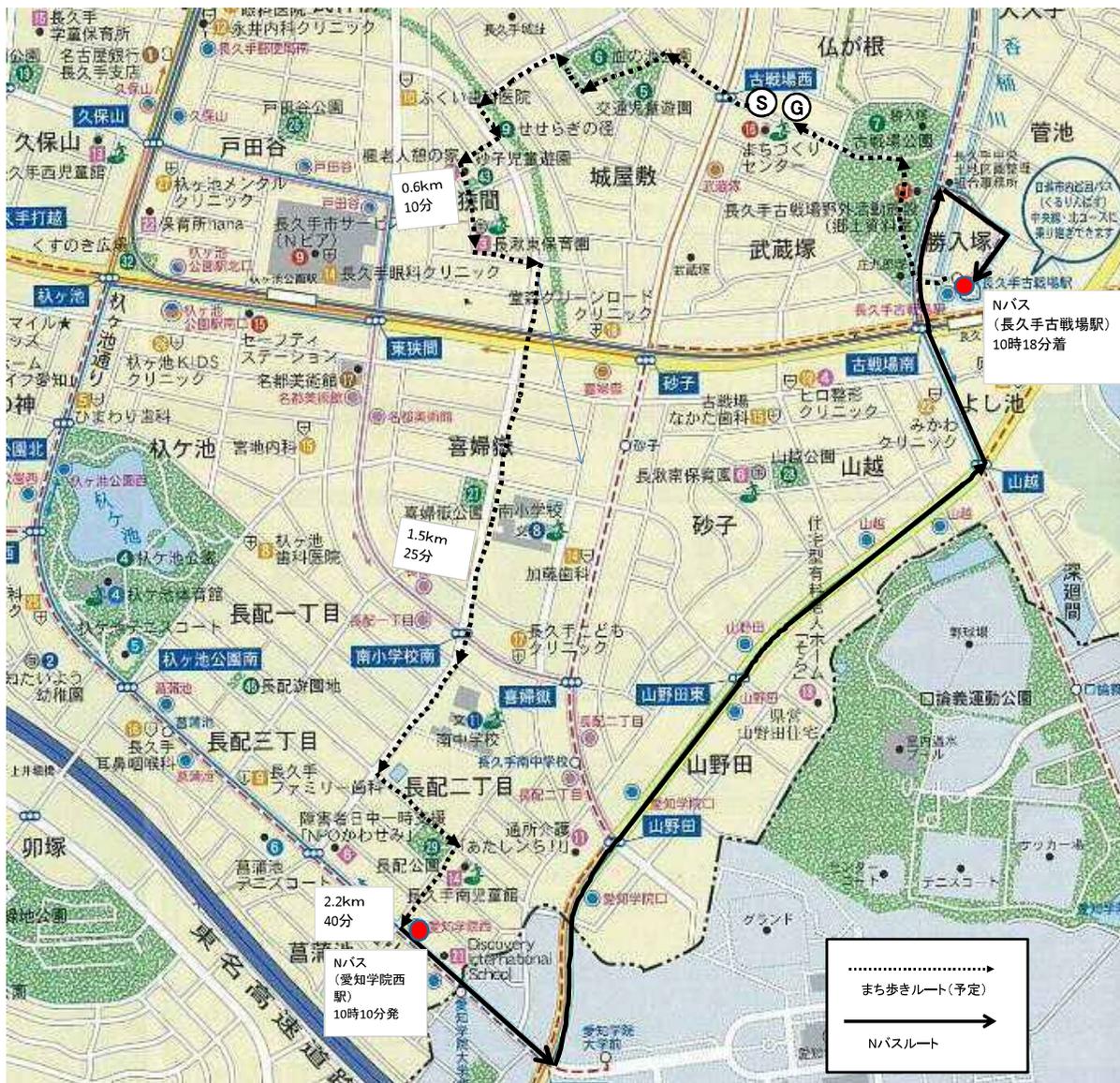
### 場所探し

- どんな場所(範囲)にあると良いか？
- どれくらい大きさ(規模)が必要か？
- 使える公共施設はないか？
- どのように管理運営していくのか？



次のステーション部会(第3回)「地域のナゾを探ろう!」【南小学校区】@まちづくりセンター

平成25年1月27日



## ●施設の概要

### 1 交通児童遊園

- 名称 長久手市交通児童遊園
- 設置目的 児童に健全な遊び場を与え、その健康を増進し、情操を豊かにするとともに、児童の交通安全の知識及び能力の開発に寄与するため、交通児童遊園を設置する。
- 対象者 児童及び児童の同伴者
- 主な施設 訓練室兼集会室、事務室
- 開園時間 午前9時から午後4時まで(4月から10月までは午後4時45分まで) 休館日:毎週月曜日及び祝日・年末年始
- 利用状況 15,623人 (平成23年度)

### 2 楓老人憩の家

- 名称 楓小規模老人憩の家
- 設置目的 老人の心身の健康の増進を図るために設置する。
- 主な施設 広間43.74㎡、和室19.08㎡
- 管理方法 シニアクラブ連合会に管理委託。  
水曜日・木曜日にシニアクラブの活動に利用。 水曜日・木曜日以外は休館。
- 利用制限 市内に居住する満60歳以上の人
- 利用状況 1,202人 (平成23年度)

### 3 長久手南児童館

- 名称 長久手南児童館
- 対象者 市内に住所を有する児童及びその保護者
- 主な施設 遊戯室 96.65㎡、工作集会室(児童クラブ室) 50.61㎡、図書室 32.60㎡、事務室 21.00㎡、静養室 18.90㎡
- 開館時間 午前9時から午後5時まで(3月から10月は午後5時30分まで) 休館日:毎週日曜日及び祝日・年末年始
- 利用状況 9,869人 (平成23年度)

### 4 長久手古戦場野外活動施設

- 名称 長久手古戦場野外活動施設
- 設置目的 緑と潤いを提供し、市の歴史、民俗及び文化に関する資料を展示し、市民の教養の向上を図り、併せて弓道の振興に資するために設置する。
- 主な施設 郷土資料室、和弓場、会議室
- 管理方法 シルバー人材センターに管理委託。
- 開館時間 午前9時から午後9時まで(郷土資料室は午後5時まで) 休館日:毎週月曜日及び年末年始
- 利用状況 郷土資料室 33,032人 (平成23年度) ・ 和弓場 4,501人 (平成23年度)